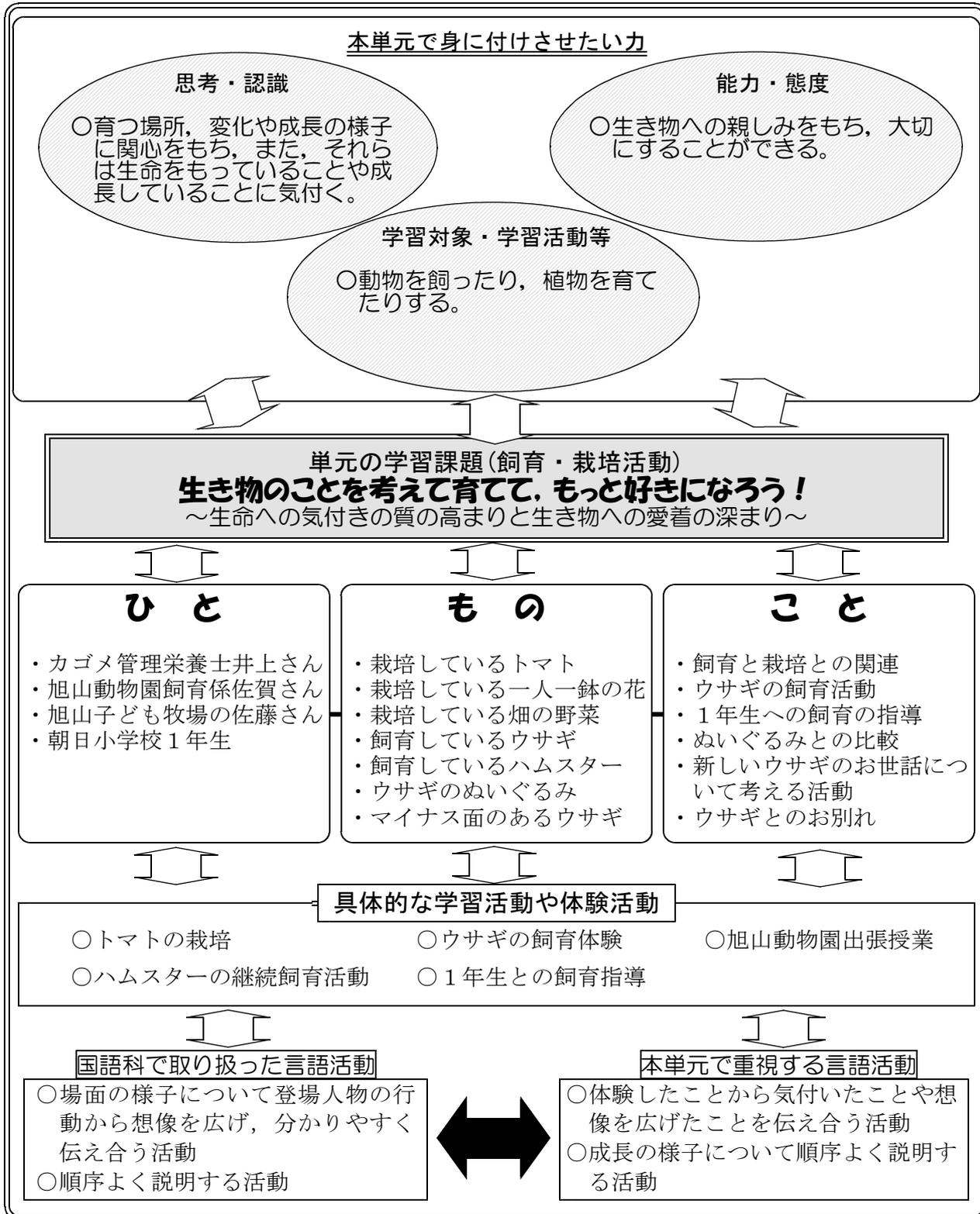


学年	単元名	子ども	場所	指導者
2年	「生き物大好き～ウサギ大好き！」	2年1組22名 2年2組21名 合計43名	2年生広場	玉井 一行 築取 美穂

1 単元で身に付けさせたい力と学習対象…【研究視点1 旭川を見つめ、確かな力を身に付けさせる学習対象の吟味】



2 単元について

(1) 内容とのかかわり

本単元は学習指導要領生活科の内容(5)、(7)、(8)と主に関連し、内容(7)を重点とした単元である。「動物を飼ったり…、それらの育つ場所、変化や成長の様子に関心を持ち」「生き物への親しみを持ち、大切にすることができる」という活動を具体的な活動や体験の中心として単元を構成している。

児童が自らの手で継続的に動物を飼ったり植物を育てたりすることを通して、身近な動物や植物に興味・関心を持ち、それらが生命をもっていることや成長していることに気付くとともに、動物や植物を大切にすることができるようにすることを目指している。



(2) 児童の実態

1年生の時にウサギの飼育活動体験を1ヶ月間行った。初めてウサギを飼育する子どもたちは、最初はおっかなびっくりであった。しかし、お世話の回数を重ね、ウサギのことを作文に書いたり絵に描いたり、ウサギの歌(替え歌)を作ったりするうちにウサギに対する愛着が高まり、7月のお別れでは、涙を流してお別れした。

2年生として、家庭での飼育栽培経験は余り多くはない。ただし、家庭でハムスターの飼育を始めた子どもが3名に増えた。強い動物アレルギーの心配がある子どもが各学級に1名ずついるため、配慮が必要である。



(3) 指導について

本単元の飼育活動における具体的な活動や体験を通して主にかかわる「対象の中心」は『ウサギ』である。さらに、『一緒に活動する1年生』『旭山動物園の佐賀さん、佐藤さん』などの「ひと」とのかかわりを加え、①ウサギの生命について考えること、②ウサギともっとなかよくなること、③ウサギの飼育活動へ主体的に取り組む態度の3点を目指している。

そこで、栽培活動と連続して関連させた飼育活動を単元として設定し、具体的な活動や体験を通して気付いたことを基に考えさせるための学習活動を「見付ける、比べる、たとえる、関連付ける」ことを重視して工夫していく。

ウサギとの出会いと飼育体験、そして別れ。ウサギとかかわることで、もっと元気に育ててほしい、もっと大好きになりたい、もっと上手に育てたいというような願いをもつことが期待できる。そして、自分とのかかわりの中で動物の生命や自分自身への気付きがたくさん生まれる。そうした情緒的で一体的な気付きからのスタートを大切に、具体的な活動を学習活動を工夫し、取り上げていくことによって、動物や植物への気付きの質が高まり、親しみが増していく。そうすることにより、それらへかかわる自分自身の成長にも気付くことができると考えた。

3 単元の目標

ウサギやハムスターを飼育し、トマト、ニンジン等の栽培を通して、それらの育つ場所、変化や成長の様子に関心をもち、また、成長していることに気づき、それらは生命をもっていることを考え、生き物への親しみをもち、大切にすることができるようにする。

4 評価規準

(1) 単元の評価規準

生活への関心・意欲・態度	活動や体験についての思考・表現	身近な環境や自分についての気づき
ウサギやハムスター、トマトやニンジン、草花の育つ場所、変化や成長の様子に関心をもち、親しんだり大切にしたりしようとしている。	ウサギやハムスターを飼育した育つ場所、変化や成長の様子に関心をもち、親しんだり大切にしたりしようとしている。	動植物は生命をもっていること、ウサギやハムスター、ニンジン、草花の世話の仕方などに気づいている。

(2) 学習活動(次のまとめ)における具体的評価規準

小単元(次)	ア 生活への関心・意欲・態度	イ 活動や体験についての思考・表現	ウ 身近な環境や自分についての気づき
第1次(栽培)	① トマトを育てて楽しむこと、トマトジュースを飲むこと。	① 変化や成長の様子、お世話の様子、お世話の仕方、お世話の大切さ。	① 育てている動物の様子、お世話の様子、お世話の大切さ。
第2次(栽培)	② トマトの成長の様子、お世話の様子、お世話の大切さ。	② トマトの成長の様子、お世話の様子、お世話の大切さ。	② ハムスター、トマトなど動物の成長の様子、お世話の様子、お世話の大切さ。
第3次(飼育)	③ ウサギやハムスターの成長の様子、お世話の様子、お世話の大切さ。	③ ウサギやハムスターの成長の様子、お世話の様子、お世話の大切さ。	③ 飼育している動物の様子、お世話の様子、お世話の大切さ。
第4次(飼育・栽培)	④ ウサギやハムスターの成長の様子、お世話の様子、お世話の大切さ。	④ 飼育している動物の様子、お世話の様子、お世話の大切さ。	④ 飼育している動物の様子、お世話の様子、お世話の大切さ。

5 単元の展開(全23時間) 研究視点2～一人一人の子どもに確かな力を身に付けさせる単元構成の工夫

次	時	学習の流れ	○主な学習活動 ※他教科等との関連的指導	◇教師の指導 ◆評価計画
	*	事前調査	○アンケート調査。 ・動植物とのかかわりやお世話 ・生命への気づき	◇保護者と子どもへのアンケート調査 (質問紙法) ⇒アレルギー等の実態を把握する。
第一次	①	対象との出会い	○プレゼントされた凍々子トマトの苗との出会い。 ・思いや願いを表出し交流する。	◇苗との出会わせ方を工夫する。 ⇒プレゼントされた苗を窓際へ展示。 ◆ア①(行動観察)。
		活動への見通し 凍々子トマトを育ててトマトジュースを飲もう!	
	④	追求活動	○カゴメ出張授業(管理栄養士) ○お世話しながら気付いたことを「見つけたよカード」に絵や文で表す。 ※道徳～3-(1)『生き物に優しい心で』 「ひみつのぼしょ」⇒優しい心で接する	◇変化の様子に着目しやすいような視点を与える。 ⇒手触り、におい、形の様子 ◆ア①, ウ①(行動観察, 作品分析) ※生き物の接し方について道徳の時間に学習したことを体験活動で実践する。

だ て よ う ⑥	① 活動の まとめ	どんな味のジュースになるのか楽しみだね！	
		○お世話の継続と見つけたよカード。	◇見つけたよカードを書かせる。 ◆ア①，イ①（対話，作品分析）
第 二 次 ト マ ト で 作 ろ う ④	② 対象との 出会い	○真っ赤に熟したトマトの実との出会い。	◇真っ赤な実を収穫させる。 ◆ア②（行動観察）
		真っ赤になった凍々子トマトでトマトジュースを作ろう！	
	② 追求活動	○トマトジュースを作る。	◇トマトジュース作り。 ◆ア②，イ②（行動観察，発言分析）
	② 活動の まとめ	○栽培活動の振り返り。	◇これまでの栽培活動を振り返らせる。 ◆ア②，ウ②（作品分析）
		お世話をがんばったから，おいしいジュースが味わえてよかったね！	
第 三 次	② 対象との 出会い	※道徳～3-(2)『自然大好き』「大きなあれ，どんぐりくん」⇒優しい心 *旭山動物園出張授業 ○ウサギたちと出会う。 ⇒ウサギに対する気付きを交流する。 ○ウサギのお世話を開始する。 ・1年生に教えよう ・自分たちにもできるかな ○ウサギとかかわって気付いたことをカードへ記入する。	※動植物に優しく接する心について，日常の飼育活動を重ねて考えさせる。 ◇ウサギとの出合わせ方を工夫する。 ◇ぬいぐるみとの比較。 ⇒旭山動物園出張授業。 ◆ア③，イ③（行動観察） ◇お世話を通して気付いたことを日常的に累積させるカードを工夫する。 ◆ア③，ウ③（作品分析）
	ウ サ ギ を 育 て よ う ②	② 活動への 見直し	○ウサギのお世話について考える。 ウサギを育てて，ウサギを大好きになろう！
		② 追求活動	○ウサギの飼育活動の継続。 ※道徳～3-(1)『生命尊重』「ふしぎな音」⇒命の尊さ ◆ア③，イ③（行動観察） ※資料と同じように自分たちの心臓の音を聞き合い，命の尊さや生きていることを大切に する気持ちを育む。
	① 本 時	① 活動の 見直し	*旭山動物園出張授業 ○飼育活動からの気付きの交流 ○旭山動物園飼育係からのアドバイス ⇒ウサギ飼育への思いや願い ◇これまでの気付きを交流させる。 ◆ア③，ウ③（行動観察，作品分析）
		① 追求活動	○ウサギの飼育活動の継続。 *旭山動物園出張授業 ○飼育活動の経過観察とアドバイス。 ・あと1週間でお別れ。 ◆ア③，イ③（行動観察） ◇ウサギの飼育活動を見直しさせる。 ◆ア③，ウ③（発言分析）
		① 追求活動	○ウサギとのお別れの準備 ※音楽～気分を感じて⇒身体表現で ◇ウサギとのお別れを準備させる。 ※お別れの歌を身振りなどで工夫する。
	④ 活動の まとめ	④ 活動の まとめ	*旭山動物園でウサギとのお別れ会 ⇒ウサギの飼育活動からの気付き ○お礼の手紙，活動の振り返り ◇旭山動物園でウサギとのお別れ会をする。 ◆ア③，イ③（行動観察，作品分析） ウサギは，かわいいだけじゃなくて生きているから，大好き！
第 四 次 ②	② 活動の まとめ	○単元の振り返りをする。 ※国語～おもしろいお話をたくさん読もう ⇒気付いたことを，順序よく伝え合う。 ウサギや野菜，草花のお世話は楽しかったね。もっと生き物が好きになったよ！	◆ア④，イ④，ウ④（発言分析，作品分析） ※登場人物の行動に着目して場面の様子の想像を広げ，順序よく読み取る。

6 研究とのかかわり

(1) 自分を考えさせる「飼育・栽培」活動の学習対象を吟味する……………【研究視点1】

凜々子トマトの栽培や旭山動物園と連携したウサギ飼育

飼育・栽培活動の本単元において、地域の特色として重視したことは、栽培活動における、子どもたちにとっての「特別さ」を設定したことである。カゴメのトマトジュース用の凜々子というトマトの苗がプレゼントされ、トマトの特徴やお世話について、管理栄養士さんとの出張授業で学んだ。

飼育活動においては、地域にある優れた教育環境である旭山動物園との連携を重視した。昨年度からの継続で、旭山動物園出張授業では、飼育係の佐賀さんや子ども牧場のウサギ担当の佐藤さんとのかかわりを通して、ウサギの飼育活動を充実させた。また、昨年度の経験が生かせるように、1年生とのかかわりを重視したいと考え、2年生が1年生の飼育活動を指導するという活動を設定した。

(2) 生き物への愛着や気付きの質を高めさせる単元構成の工夫……………【研究視点2】

出会いの活動の充実と継続活動を意欲付ける中間交流会

飼育・栽培活動では、継続して意欲的にお世話しようとする興味・関心を高めることが大切である。そのために、まず出会いの活動を工夫した。飼育活動では旭山動物園出張授業として行った。教室の広場で1・2年生合同の生活科の活動としてウサギたちと出会った。この活動では、ウサギのぬいぐるみとの比較をしたり、2年生が抱き方の例を示したりした。また、中間交流の場を設定して動植物に対する気付きを交流したり、継続する動植物とのかかわりを意識させる活動を位置付けたりした。

＜動植物とのかかわりを意識させる主な工夫＞

- 学習対象への興味・関心を高める出会いの活動の工夫。
- 「見つけたよカード」（植物と自分とのかかわり、動物と自分とのかかわり）の継続。
- 他教科等との関連的な指導の充実（道徳「生命尊重」、音楽「ウサギの歌」、図工「絵画」）。
- 学習対象への気付きを交流する中間交流会の設定。

(3) ウサギへの気付きの質を高めさせる手立ての工夫……………【研究視点3】

新たにウサギが2頭増える！？マイナス面から考える

ウサギとの出会いから開始する飼育活動は、昨年度の経験があるため、お世話自体への抵抗感は少ないと考える。そこで、1年生へお世話の仕方を教える活動を通して、ウサギへの気付きを少し客観的にとらえさせたい。また、本時では、これまでのお世話から感じているウサギについての気付きについての中間交流を行う。授業後半には、新しいウサギを2頭増やす（抱くのが難しい等マイナス面のあるウサギ）提案を行う。「自分たちにできるのか。」「だいじょうぶか。」自分とウサギとのかかわり方や自分自身の成長を見つめ直させたい。

＜本単元で気付きの質を高めるための主な手立ての工夫＞

- 1年生にウサギのお世話を教える活動からの気付きを大切にする。
- 気付きを記録し累積化した色分けカードを活用する。
- ウサギへのお世話の仕方や、かかわり方や考え方の変化をG Tに評価してもらう。
- G Tから「マイナス面のあるウサギ」を2頭増やす提案をしてもらう。

7 本時の学習

(1) 本時の目標 (2 学年合同授業～ T 1 玉井, T 2 築取, G T 1 佐藤, G T 2 佐賀<旭山動物園>)

○これまでのウサギのお世話やかかわりの経験に加え, 本時のウサギとのかかわりを通して, ウサギのことやお世話に対する気付きが自分ごととなる。

(2) 本時の展開 (第 3 次 1 1 時間扱いの 4 時間目)

主な学習活動	◆見取りの観点 ☆研究とのかかわり	
	○教師の働きかけ(T 1)	○教師の働きかけ(T 2)
1 これまでの飼育活動やウサギとのかかわりかたを想起する。	○飼育活動の見取りから「ア③」にかかわって顕著な子どもの様子を紹介する。	☆広場で全員がウサギと触れ合える環境構成を工夫する。 …【研究視点 3-1】
2 本時の学習内容を確認する。		
ウサギのことやウサギのお世話について考えよう!		
3 飼育係の佐藤さんと佐賀さんの紹介と本時の学習活動の提案。	○学習内容の確認と佐藤さん佐賀さんの紹介を行う。	○ウサギに対するつぶやきを拾う。
4 全員でウサギのお世話をする。 ・G T は, 子どもたちのかかわりの様子を観察しながら対話し, 助言する。	「どれくらいウサギのお世話が上手になったか, 佐藤さんと佐賀さんに見てもらってね。」	○活動場所についての配慮をする。 ○意図的に見取る。
5 気付きをカードへ記入する。 ⇒手が空いた子どもから, これまでに記入したカードに加えて掲示板に貼り付ける。	☆すべての子どもたちがウサギとのかかわることができる環境構成を工夫する。	☆すべての子どもたちがウサギとのかかわることができる環境構成を工夫する。
6 ウサギのことやお世話について気付いたことや考えたことをG T から評価してもらう。 ⇒T 1 が進行する。	◆「ア③, ウ③」(行動観察) ・ウサギとどのようにかかわるのを見取る。 ☆色分けしたカードの活用 …【研究視点 3-2】 ・見取りをもとに指名する。	☆黒板に分類して掲示する。板書の工夫。 …【研究視点 3-2】 ・見取りをもとに指名する。
7 佐藤さんから, 新しいウサギを紹介してもらう。 ⇒マイナス面のあるウサギを紹介してもらう。	「この新しいウサギは, みんなにお世話ができるかな。」	「1 年生にまかせようか?」(ゆさぶる)
ウサギに合わせて, ウサギのことをよく考えたお世話をしよう!		
○事後に本時の振り返りを行う。	◆「ア③, ウ③」(作品分析) ・カードへ表出した気付きの質の高まりを見取る。	

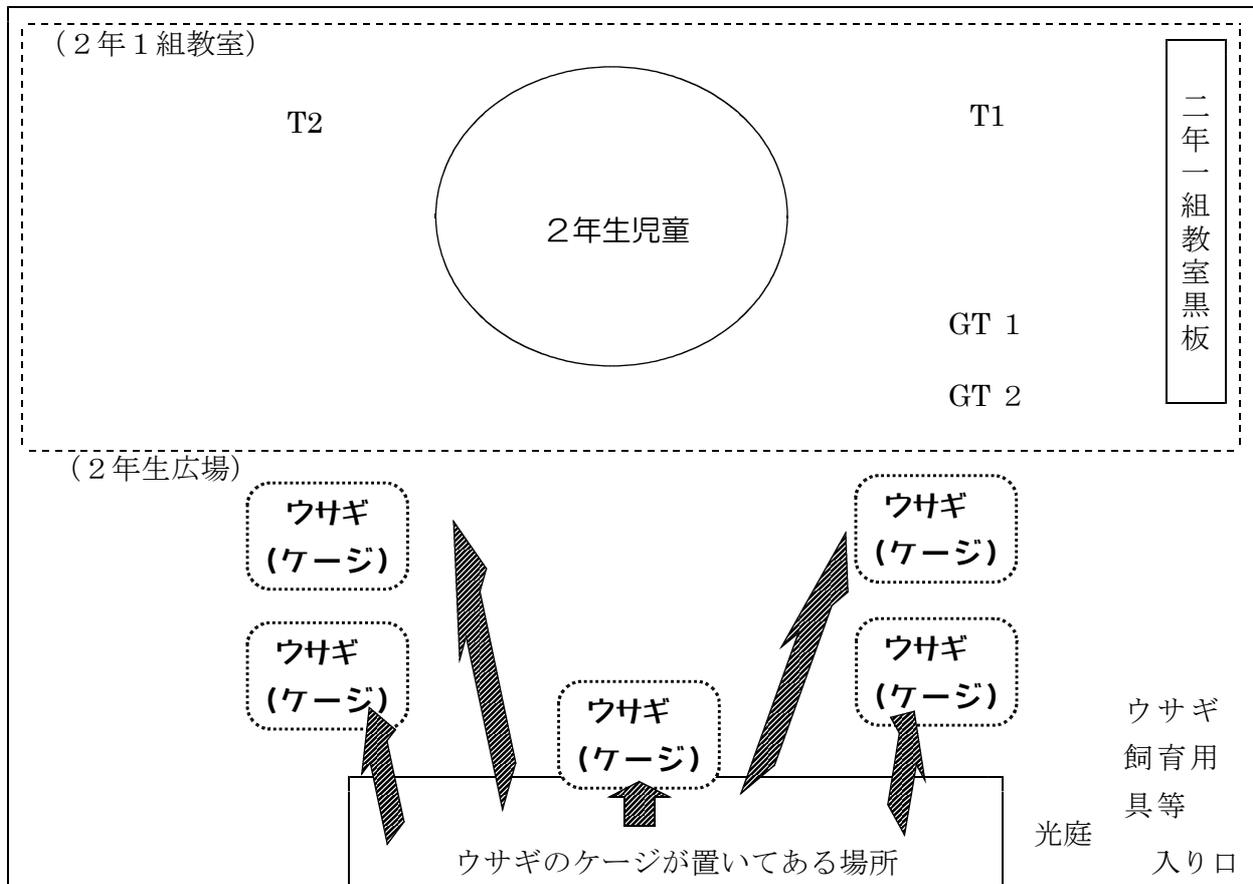
(3) 本時の評価規準 (修正版)

◆評価規準の具体【身近な環境や自分についての気付き】(評価方法～発言, カード, 行動観察)
十分満足できる(A):ウサギについての気付きが, 餌のことやお世話のことと関連付けた気付きとなったり, 自分のとのかかわりでウサギのお世話への自信を高めた気付きとなったりしている。
おおむね満足できる(B):ウサギについて気付いたり, ウサギと自分とのかかわりについて気付いたりしている。
努力を要する児童への指導:ウサギとじっくり触れ合わせ, 1 年生と自分とを比べて考えさせる。

(4) 板書計画

<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-bottom: 5px;"> 生活 ウサギ大すぎ! 小単元の学習課題 </div>	これまでのお世話の様子の写真
<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-bottom: 5px;"> ○ウサギのお世話を見てもらおう。 </div> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <p>* GT からの評価を板書する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・きれいになるとウサギも気持ちよくなるだろうね。 ・ウンチやおしっこもていねいにできていてびっくりしたよ。 ・とてもやさしくウサギにかかわっている人が、たくさんいたね。 </div>	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-bottom: 5px;"> ○お世話が上手になったことや気付いたこと </div> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <p>* 気付いたことの交流から板書する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ウサギがイライラしている時があるみたい。 ・1年生におせわのし方を教えてあげている。 ・うんちやおしっこのかたづけができるようになった。 ・ウサギが気持ちよさそうにしていると、わたしもうれしい。 </div>
<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-bottom: 5px;"> ○新しいウサギをどうする? </div>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> ウサギのことを考えたおせわができれば、すごいね。 </div>

(5) 環境構成計画



「2年生用生活科指導案」〈9/29(火)旭山動物園出張授業「1・2年合同授業」〉

日時 平成21年9月29日(火)4・5校時10時50分～12時20分

場所 2年生プレールーム及び光庭（雨天時は2年1組とプレールーム）

(1) 目標 (T1玉井, T2築取, T3平井, GT1佐藤・GT2佐賀「旭山動物園」)

○ウサギとの出会いの活動でぬいぐるみのウサギとの比較をした後に、自分なりのかかわり方でウサギとかかわることを通してウサギ飼育への興味・関心を高めさせ、進んでお世話しようという気持ちをもたせることができる。

(2) 展開 (T1進行, T2～T3は主に学年ごとの見取りと個別指導)

主な学習活動	◆見取りの観点 ○教師の働きかけ□GT 【学習活動における具体的評価規準】
<p>(10:50)</p> <p>1 旭山動物園の飼育展示係佐賀さん、子ども牧場の佐藤さんたちと出会う。</p> <p>2 ウサギたちと出会う。</p> <p>3 ぬいぐるみとの違いを考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 生きている ・ あたたかい ・ おこるとかじられそう ・ 動いて、逃げ回る ・ うんちやおしっこをする <p>4 本時の学習内容を確認する。</p>	<p>※10時30分GT到着⇒会議室へ</p> <p>○旭山動物園「子ども牧場」から来たことを紹介する。</p> <p>○ウサギとの出会い。 (光庭を活用, 雨天時は広場) ※環境構成の工夫</p> <p>□最初にかごからぬいぐるみを登場させる。 (GT1)</p> <p>○ぬいぐるみとウサギとを比較させて違いを考えさせる。「ぬいぐるみと本物のウサギとではどこが違うのですか?」 ※T2が板書する。</p> <p>○学習内容を提示する。</p>
<p>ぬいぐるみとの違いを確かめながら、ウサギとたくさん触れ合おう</p>	
<p>5 かかわり方について考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ さわってみたい。 ・ だいてみたい。 ・ だきしめてみたい。 ・ おいかけてほしい。 ・ やさしくしたい。 	<p>○ウサギのかかわり方について2年生にお手本をさせ、GTから直接指導を受ける。</p> <p>□GTから抱き方やかかわり方について指導 (GT1, 2)</p> <p>○「ウサギたちと光庭で触れ合います。」 「どのようににふれ合うことができそうですか。」</p>
<p>(11:10)</p> <p>6 ウサギと自由に触れ合う。</p> <p>※2年生(1組, 2組) ⇒1年生は、待っている間は窓から様子を観察する。</p>	<p>○ぬいぐるみも比較対象のために置いておく。</p> <p>○「それでは、自由にふれ合ってもらいます。最初は2年生です。」</p> <p>□ウサギを順番に抱くコーナーを設ける。 (GT1)</p>
<p>(11:25)</p> <p>7 触れ合い後に2年生は、待っている間にウサギのことで気付いたことを学習カード(ひと・もの・こと)に記入する。</p>	<p>◆ウサギとのかかわりへの意欲(行動観察)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ どのようにかかわれているか ・ 消極的な子は誰か ・ 乱暴なかかわりはないか (T1, T3)

<p>(11:40)</p> <p>8 ウサギについて話し合う(ペア対話) ※朝日小学校学年広場</p> <ul style="list-style-type: none"> ・かわいかった ・ふわふわで気持ちよかった ・あたたかかった☆(比較) ・今年もお世話したい☆(意欲) ・優しくお世話したい☆(主体的) ・去年も出来たからだいじょうぶ☆(自信) 	<p>○学習カードから気付きを取り上げるものを選んで、黒板に掲示する。 (T1, T2, GT2)</p> <p>○ ペア対話の設定 I ※事前に話し合いのペアを決めておく</p> <p>☆のような気付きは、明確化し、全体に広げるために注意して見取る。</p>
<p>(11:45)</p> <p>9 ウサギについて気付いたこととの交流 ⇒ウサギとの触れ合いから感じたこととの交流。(一人一人の思いや願いの表出)</p>	<p>○全体で発表させ、お世話で大切なことにかかわる気付きは、価値付ける。 ⇒☆印の気付きを重視する。</p>
<p>(12:00)</p> <p>10 旭山動物園の佐藤さんから子どもたちとお別れのあいさつ</p>	<p>□ 飼育活動の提案。 「ウサギとふれ合って楽しかった？(GT1)」 「ちゃんとお世話できるかな？(GT2)」</p> <p>□ ゆさぶる 「うんちやおしっこのお世話や、お休みの日のお世話もあるよ。(GT2)」 「先生方がしなくてもできるの？(GT1)」</p>
<p>11 飼育活動を行うことの決意 「お世話したい！」</p>	
<p>12 飼育展示係さんからの注意と賞賛 ⇒ウサギとのかかわり方で気を付けることの確認と、上手なかかわり方のイメージを共有する。</p>	<p>□ お世話にかかわって注意と賞賛をする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・においについて (GT1) ・ウサギの爪や歯について ・うんちやおしっこについて ・かかわり方の上手な子の紹介
<p>ウサギのお世話をがんばって、ウサギをもっと好きになりたいな！</p>	
<p>13 佐藤さんたちとお別れ</p>	<p>□ 少ししたら、お世話の様子を見に来ることを予告しておく。(GT1, 2)</p>
<p>(12:10)</p> <p>14 ウサギとの触れ合いから気付いたことを「見つけたよカード」に記入する。</p> <p>(12:20)</p>	<p>「ア②」(自己評価の作品分析)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ウサギとのかかわりへの期待(問いかけによる書き加え) <p>⇒日常観察に生かす(見取る対象児童や視点を重点化する)</p>

(3) 評価規準 (生活への関心・意欲・態度)

○ウサギ飼育への興味・関心が高まり、進んでお世話しようという気持ちをもとうとする。

「2年生生活科指導案」<10/7(水)学習課題設定の場面>

日時	平成21年10月7日(水)2校時9時30分～10時15分
場所	2年1組教室及び2年生プレールーム

(1) 目標 (T1玉井, T2築取)

○進んでお世話しながら, ウサギをもっと好きになろうウサギのことを考えようという気持ちをもつ。(生活への関心・意欲・態度)。

(2) 展開

主な学習活動 ・予想される子どもの表出	◆見取りの観点 ○教師の働きかけ 【学習活動における具体的評価規準】
<p>(9:30)</p> <p>1 ウサギとの出会いの場面を想起する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ウサギと会えて嬉しい気持ち。 対象への気付き (感覚的)。 対象に働きかけた気付き (発見的) <p>2 本時の学習内容を確認する。 ※学習課題を設定する。</p> <p style="text-align: center; border: 1px dashed black; padding: 5px;">ウサギのお世話を通してがんばる「学習課題」を決めよう!</p> <p>3 ウサギのお世話を通して, 「見付けたいこと」や「なりたい自分の姿」を考える。</p> <p>4 学習課題について話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ウサギが大好きになる。 もっとウサギのことを知ろう。 ウサギのお世話が上手になろう。 ウサギのお世話を 100 点満点になろう。 ウサギの気持ちがわかるようになろう。 ウサギに気持ちよいことをしよう。 自分で考えてお世話をしよう。 	<p>○写真を使って, 出会いの様子想起させる。</p> <p>○カードの紹介から, 出会いの時の気付きを紹介する。※既有体験の気付きを生かす。</p> <p>○ペア対話を行わせる。</p> <p>○これまでの見取りをもとに, ペア対話の内容を聞き取ったり, 対話して気付きの明確化を図る。⇒思考的な気付き</p> <p>○ウサギについての話し合いから学習課題を設定する。<板書の構造化～T2></p> <p>○自由に発言させた後, ペア対話の見取りから意図的に指名する。</p> <p>◎発問A「ウサギのお世話が上手になるというのは, どのようにできることですか?」</p> <p>◎発問B「ウサギのことが大好きになると, お世話の仕方が変わりますか?」</p> <p>○発問AかBで, 課題意識を醸成し, 焦点化を図る。</p>
ウサギのお世話をがんばって, ウサギに気持ちよいお世話ができるようになろう!	
<p>5 見付けたよカードに「ウサギのお世話でがんばりたいこと」をかく。</p> <p>6 時間が残ったら, お世話グループごとにウサギのお世話分担について話し合う。</p> <p>(10:15)</p>	<p>○一人一人に「ウサギのお世話でがんばりたいこと」をかかせる。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; background-color: #f0f0f0;"> <p>「ア②」(自己評価の作品分析)</p> <ul style="list-style-type: none"> ウサギとのかかわり方が<感覚的⇒発見的⇒思考的>へ深まっているか <p>(問いかけによる書き加えと読み取り)</p> </div>

(3) 評価規準

○ウサギ飼育への興味・関心が高まり, 進んでお世話しながら, ウサギをもっと好きになろうウサギのことを考えようという気持ちをもつ。(生活への関心・意欲・態度)